



2026 年 6 月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

総取扱量及び積込量が過去最大

概要

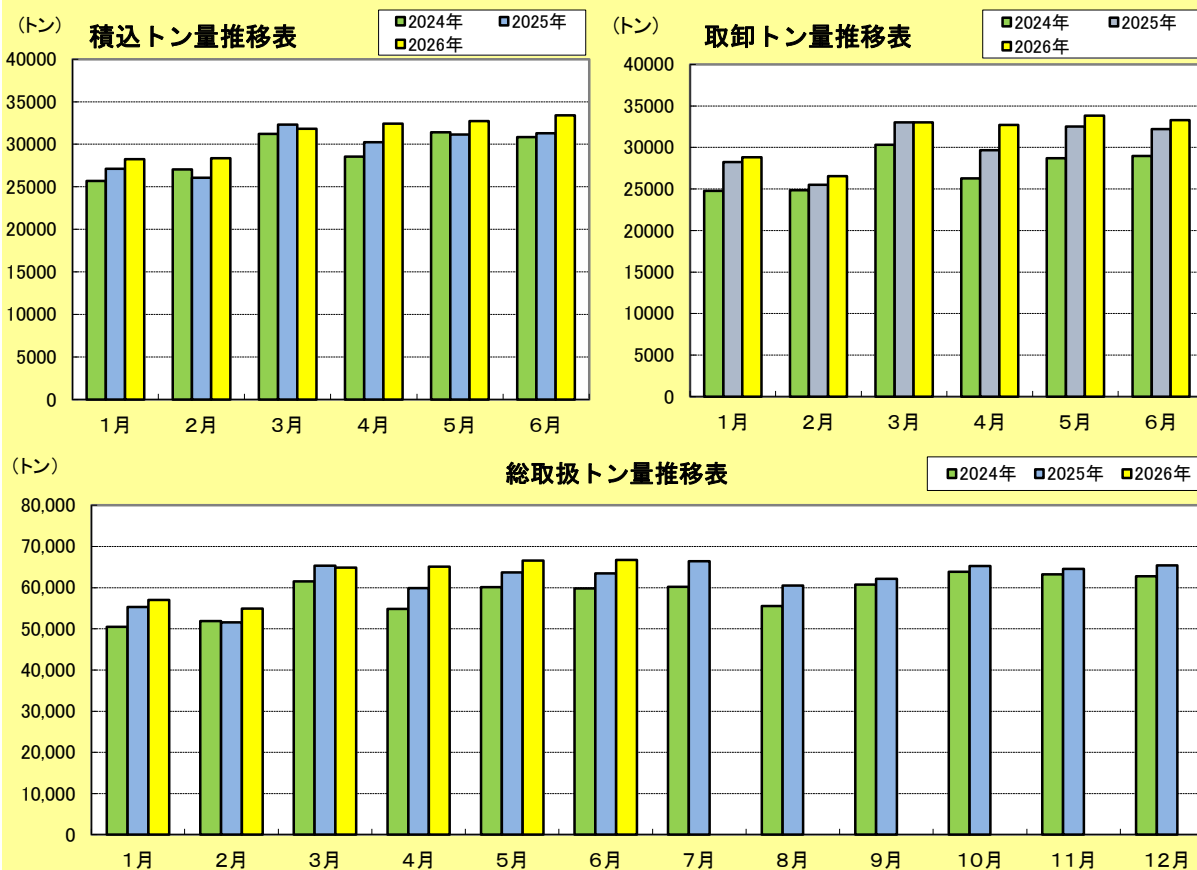
2026年6月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 66,702トン(対前年同月比 5.0%増)

積込量 33,416トン(同 6.8%増)

取卸量 33,286トン(同 3.3%増)

となり、対前年同月比でみると、総取扱量は3ヵ月連続でプラス、積込量は3ヵ月連続でプラス、取卸量は43ヵ月連続でプラスとなり、総取扱量及び積込量は過去最大となった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出品

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田通関 2,723 トン（対前年同月比 31.5%増、シェア 18.5%）

その他地域通関 11,995 トン（同 5.8%増、同 81.5%）

となり、対前年同月比でみると、羽田通関は22ヵ月連続でプラス、その他地域通関は3ヵ月連続でプラスとなった。

● 輸入品

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田通関 10,500 トン（対前年同月比 0.2%増、シェア 60.5%）

その他地域通関 6,855 トン（同 4.4%増、同 39.5%）

となり、対前年同月比でみると、羽田通関は3ヵ月連続でプラス、その他地域通関は2ヵ月ぶりのプラスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 18,698 トン（対前年同月比 4.6%増）

取卸量 15,931 トン（同 5.1%増）

となり、対前年同月比でみると、積込量は3ヵ月連続でプラス、取卸量は15ヵ月連続でプラスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

羽田空港で輸入された貨物（羽田通関分）を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 1,543 トン（対前年同月比 15.4%減、シェア 14.7%）

ドライ貨物 8,957 トン（同 3.4%増、同 85.3%）

となった。

生鮮貨物の内訳は、果物57.0%（対前年同月比20.2%減）、水産物17.6%（同8.6%減）、野菜等10.2%（同21.7%減）、乳製品5.8%（同24.6%増）等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2026年6月			2025年6月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	10,500	100.2%	100.0%	10,484	128.5%	100.0%
生 鮮	1,543	84.6%	14.7%	1,824	139.3%	17.4%
ドライ	8,957	103.4%	85.3%	8,660	126.5%	82.6%